

大人のチカラ

35

～子どもたちの未来のために～

子どもとのコミュニケーション②

子育て世代の交流が 会話助けるヒントに

子どもとのコミュニケーションは「子ども
の言うことを何でも聞き入れる」こと
ではありません。子どもの話したことに對
して、どう返事をすればいいのか？ それ
を考える強い助けになるのが他の子育て世
代との交流です。

職場で情報を共有し きつかけづくり

例えば小学生の子どもが
「そろそろケータイが欲しい
な」と言い出したら、あな
たはどう答えますか？

戸惑って反論できなかつ
たり、考え込んだりする家
庭も多いのではないでしょ
うか。

そこで助けになるのは、
やはり同じ子育てを経験し
ている人からの情報。「子ど

もには学校や習い事などで
の子ども同士のネットワー
クがありますが、現代社会
で案外見落としがちなのが
子育て世代のネットワーク
と高松短期大学保育学科の
田中崇講師は指摘します。

先入観で見ずに 生の情報に触れる

子どもが突然「学校に行
きたくない」と言い出した
ら：「SOSの表れなのか、
それともワガママやズル休
みしたい気持ちから出たも
のなのか、見極めは難しい
ものですが、いつも自分の
子どもだけ見てい
ると、視界の狭い
判断しかできませ
ん。インターネッ
トや育児情報誌な
どから集めた一般
論ばかり目にして
いては先入観で子
どもを見る危険が
ありますから、せ

「誰かがみ
んな、〇〇しているよ」と
いった主張内容に対して、本
当に『みんな』なのか？
などと疑問が残る部分を、
親同士のつながりで補いま
しょう。地域との関わりが
難しければ職場で情報共有
するのはどうでしょう。例
えば職場の中でお父さん同
士で子育てについて話し合
い、だんらんの時『こうい
う話を聞いてきたんだけど
…』と話すきっかけができ

